



各位

平成24年2月3日

上場会社名 三井化学株式会社
 代表者 代表取締役社長 田中 稔一
 (コード番号 4183)
 問い合わせ先責任者 IR・広報部長 裾分 啓士
 (TEL 03-6253-2100)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

平成24年3月期第3四半期におきまして、特別損失を下記1の通り計上いたしました。併せて、最近の業績動向等を踏まえて、平成23年11月2日に公表した業績予想を下記2の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失(固定資産減損損失)の計上について

ポリウレタン材料事業は、TDI、MDI市況の低迷や円高により厳しい事業環境が継続しています。更なる需要の低下を受け、当第3四半期連結会計期間に改めて当該事業に供している固定資産について回収可能価額を算定した結果、帳簿価額を下回る見込みとなりました。その結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理が必要になったため、減損損失を11,415百万円計上いたしました。

なお、ポリウレタン材料事業については、徹底したコストダウンの確実な実行とともに、事業構造改革を進めて参ります。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,510,000	50,000	51,000	26,000	25.95
今回修正予想(B)	1,430,000	25,000	23,000	△ 6,000	△ 5.99
増減額(B-A)	△ 80,000	△ 25,000	△ 28,000	△ 32,000	
増減率(%)	△ 5.3%	△ 50.0%	△ 54.9%	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	1,391,713	40,548	38,851	24,854	24.80

(2) 修正の理由

通期の業績予想につきましては、上期は旺盛な新興国需要の取り込み、あらゆるコストダウンの実行などにより好調な業績を上げることができましたが、下期は徹底的なコスト削減効果はあるものの、欧州の債務問題、中国での需要の減退などによる販売数量の減少、石化・基礎化学品事業等における交易条件の悪化により、営業利益及び経常利益は前回発表値から減少する見込みです。

また、当期純利益は、営業利益及び経常利益の減少に加え、「1. 特別損失(固定資産減損損失)の計上について」に記載のとおり、固定資産の減損損失の計上により、前回発表値から減少する見込みです。

業績予想の修正にあたっては、為替レートは通期79円/\$ (1～3月78円/\$)、国産ナフサ価格は通期54,400円/KL (1～3月52,000円/KL)を前提にしています。

業績予想の修正を行いました。従来に増して、高付加価値、機能製品群の強化拡大、低収益大型事業の抜本的な構造改革や、徹底したコストダウン等の中期経営計画の基本戦略を、スピードを上げて確実に実行して参ります。

(注) 本資料に記載の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上